

支部協だより

第18号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 ☎098-870-7101

責任者
 稲福政吉

T沖縄支店社員の平均年齢は四六・二歳となり、近い将来、現役と退職者の数が逆転するのではないかとされています。

「退職者の会」が結成された当初は、会員数もわずか八名でしたが、約一〇年を経過して三〇〇名を超える会員を擁するほどの組織となりました。退職者の会活動のキーポイントである「現退一致」の活動と会員の親睦を中心とする活動を積極的に取り組んできた成果ではないかと考えます。

時代の流れは、確実に高齢化社会へと進んでいます。NTTを退職された皆さんが、現職時代のこだわりやわだかまりを捨て、楽しい日々を送ることが出来る活動の展開と年金制度のみならず社会の仕組みを変えて行く活動にも積極的に参加していくことが求められているのではないのでしょうか。

NTT労働組合と退職者の会が、それぞれの役割をしっかりと認識し合い、トータルパワーで楽しく生活できる社会を作り上げて行くために努力していかねばなりません。従来の活動から一歩でも二歩でも前進した活動を行なうことを期待いたします。

沖縄県退職者連合の結成総会

去る五月一日連合沖縄事務所にて結成準備会を開きました。全通退職者組合長玉城芳喜氏と当会の稲福会長、宮良信男連合事務局長、佐久真盛厚副事務局長が出席しました。

議題は結成総会の日程で、

去る五月一日連合沖縄 今月一八日・火曜日午後四時から連合事務所で開催することになりました。代議員は各組織から五名出して、総会で会則と運動方針を決め、役員を選び発足することを確認しました。

退職者の会に

期待する

NTT労組沖縄支部委員長



屋良宣正

私たちは、昨年の一二月一日に、全電通四八年の歴史に終止符を打ち、NTT労働組合に生まれ変わりました。NTT再編成を今年七月にひかえ、いち早く体制固めを行なうことと、組合員の多様な価値観・ニーズ

従来は、NTT労働組合から企業本部別組織体制となり、長年私たちが指導してきた九州地方本部が解散し、沖縄県支部は、西日本本部（静岡県以西の府県）所属の組織となりました。これに連動して全電通退職者の会も「NTT労働退職者の会」に変わったことにはすでにご案内のとおりです。

「現退一致」の活動と会員の親睦を中心とする活動を積極的に取り組んできた成果ではないかと考えます。

時代の流れは、確実に高齢化社会へと進んでいます。NTTを退職された皆さんが、現職時代のこだわりやわだかまりを捨て、楽しい日々を送ることが出来る活動の展開と年金制度のみならず社会の仕組みを変えて行く活動にも積極的に参加していくことが求められているのではないのでしょうか。

NTT労働組合と退職者の会が、それぞれの役割をしっかりと認識し合い、トータルパワーで楽しく生活できる社会を作り上げて行くために努力していかねばなりません。従来の活動から一歩でも二歩でも前進した活動を行なうことを期待いたします。

98年度 会加入者一覧

(99年4月現在)

松元喜代美	与那覇政子	渡久地政有
当山 清一	祖慶 文子	豊元 厚勇
新垣 操	棚原 玄光	洲鎌 寛
宇久田 直	宮城 敬子	久貝 幸一
川満多美子	中里ひろみ	新城 勝次
安里ヒロ子	田場 貞子	浜元 盛仁
波平 裕美	与古田知子	東風平朝邑
武島恵美子	大山 恭枝	垣花 広光
上地 国秀	宮城 常子	玉城 正忠
仲松 清隆	大城 政子	狩俣 寛次
上原 憲吉	米須 清信	当山 清行
吉長 盛久	渡嘉敷真徳	屋良 朝作
宮里 敏雄	宮里 幸吉	宮良 用淳
川端 幸徳	太田 正市	四一名

「九九沖縄ピースすてーじ」スケジュール

- (1) 六月二日
 - 一五時受付(沖縄都ホテル)
 - 一六時〜一八時 講演会(もしくは映画上演)
 - 一八時〜一九時 結団式
 - (2) 六月二日 基地の実態体験行動
 - 九時〜一七時 嘉手納基地周回行動
 - (3) 六月二三日
 - 九時〜一五時 米軍施設と戦跡めぐり
 - 主な見学場所
 - ◎糸数壕(アブチラガマ)
 - ◎ひめゆり資料館、摩文仁平和祈念公園
 - 嘉数高台(普天間飛行場)
 - 一五時〜一七時 連合平和オキナワ集会
 - 宜野湾市・沖縄コンベンションセンター
 - 集会終了後 ホテルへ移動
 - 一八時〜二〇時 解団式
- *参加希望の方は事務所まで連絡して下さい。

中国五千年の旅

会長 稲 福 政 吉

恒例のNTT労組海外研修旅行に退職者の会から私よわい六六才で参加させてもらった。

行き先は中国(北京、上海)、期間は四泊五日。私を除いて平均年齢四三才の現役の皆さんの足を引張らないように必死の覚悟の旅でした。幸い全員事故もなく無事四月一九日に帰ってきました。

屋良委員長を団長に添乗



員のNTT-IDOの稲福進氏を含めて総勢十一名のメンバーは、四月十五日、那覇空港を出て福岡国際空港で中国東方航空に乗りかえ

一路上海へ。上海で入国手続をおえ同航空の国内線で北京に着いたのは中国時間で午後五時五〇分。ホテルは外資系のヒルトンホテル、夕食は山東料理で舌つづみをうつ。翌一六日は現地のガイド熊さん(女性)がホテルに迎えにきてくれた。

早朝から強行軍の日程である。まず夢にまでみた「万里の長城」への挑戦だ。有名な八達嶺入口までバスが入る。駐車場から八達嶺門まで物売りの多さに驚く。帽子をかぶってない人には帽子売りが殺到する。同行の謝敷氏が洗礼を受ける。一〇〇元

(一五〇〇円)から一〇元まで落して買った。いよいよ長城に登るが二つのルートがある。向って右側が坂がゆるやかな女坂、左側が傾斜が四〇度の処もある男坂。私たちは観光客が比較的少ない男坂を選んで登ることにする。その昔沖繩から琉球馬が進貢物として中国に渡り、万里の長城で使役に残ったとのが歴史書に残っている。それに思

いはせながら一歩一歩踏みしめて登る。長城から帰り途中で昼食(北京田舎料理)を食べて明十三陵へ。ここは明朝の皇帝一三人の眠る墓である。三〇米地下にあるので昇降が大変である。エスカレーターが欲しいと思った。こ

こも物売りが多い。すぐ群がる。本当に観光は疲れる。夕食は北京ダックで疲れをいやす。さて一七日は北京市内の観光だ。専用バスで天安門広場の予定が、広場は中国建国五〇年行事のため立入禁止。変更して、すぐ故宮博物院へ行く。大変な人出である。内外の観光団で人、人である。皇帝の即位

をする太和殿を中心に、中和殿皇帝の控えの間、保和殿と三つの御殿が並ぶ。宝物は珍宝館に展示されているが台北の故宮に劣るといわれている。故宮を後にしてすぐ隣にある景山公園へ登る。標高九〇米、故宮の外堀の土で作った人工山でここから故宮の眺めは絶景である。

北京最後の観光地天壇公園へ。釘を使わないで建てられた祈年殿、その昔、皇帝が五穀豊稔を祈った処といわれる建物だ。写真におさめる。

当日の昼食は広東料理、夕食は淮揚料理で北京最後の食事である。上海に着いたのは午後一〇時三〇分、朱さん(女性)が専用バスで空港へ迎えにきた。ホテルは三つ星の新錦江大酒店にチェックイン。

翌一八日終日市内観光だ。初めに訪れた処は玉仏禅寺という釈迦二体を祭っている寺で、地方からの信者で混雑している。ここは物乞いが多い。上海の浅草といわれる豫園商場で、昼食点

心料理をいただく。上海博物館は一九五二年に建てられた五階建てでコレクションは一二万点とのことでも立派な博物館だ。特に三階の書法館はもう一度みたいと思う。夕食上海料理を味わう。食後上海雑技を観賞して上海の一日を終る。



この旅で特に印象に残ったことは、上海のガイドの朱さんが資本主義に憧れた言動をあらさまにしていたこと。又、私が一番に物売りのターゲットにされたことである。何故か気になる旅でもあった。

◎会費支払いのお願い

会の年会費、金1,000円也を同封の労金の預金口座振替で徴収することにしましたので是非御協力下さい。労金の口座がない方は作っていただくようお願い申し上げます。必要事項を記入し押印して、NTT労組退職者の会宛送って下さい。

宛先 〒901-2133 浦添市城間4-35-2

NTT労働組合退職者の会 沖縄県支部協議会